廣白石叢書

武人訓　下

帝國文庫藏書印

14
588
2

曾我門
蒲 488
巻 2

板倉家文庫記

武人訓巻之

立教篇下

一 大将遣前東の次第一より浴衣二小小神二
大口四より汎袋八より硯光二より弓五より七より遣
直垂八より腰巾九より帯十より脇指十一より
頬巾十二より脇立十三より盃十四小遣十五
刀十六より太刀十七より征矢十九より母衣二十
より鞘巻一より鉄巻二より薬巻三より扇子巻
四より籠より

一 侍大将の前東の次第一より机帯二より
浴衣二より小神四より硯巾二より脇指

七ヶ所ニ分ケ拾九ヶ所小ノ濃十ヶ上帯
十二ヶ所濃十ヶ所カ十ヶ所濃高十ヶ所胴十
ヶ所薬十七ヶ所紙十八ヶ所十九ヶ所二十ヶ
茶ヶ所ヶ所ヶ所

一カ所濃の物ヶ所濃黄ヶ所ヶ所ヶ所濃
上帯ヶ所濃ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所
茶縞ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所
袖の黄ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所
下着ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所
袖水除の物ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所
ヶ所ヶ所白袋ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所

具ヶ所京附西黄西ヶ所ヶ所ヶ所文膏茶長合馬の茶
同ヶ所城姫付ヶ所ヶ所の大南天の茶ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所
ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所又鉄地の底ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所
ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所
ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所
ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所
茶会茶作ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所
ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所
士ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所
ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所ヶ所

のし也く〳〵あつかひことを能〳〵ニて底意より
とあり

一 歌のさまとりく〳〵ハ文字の見え書りし句の先より
事しく重〳〵し文句付に出〳〵をさをとえ来
ろくつ寸付様にさこ〳〵しこと〳〵切もちひくり
くる引茶のお学あしはまくし〳〵下〳〵紙しこ
場りもち合る事をえ沸るゝ〳〵し趣しく〳〵数付に
出る何月の句をおく〳〵第の数を思く〳〵おもへ〳〵
こゝろ味方の跡〳〵句付の人の付もち詩を接〳〵し
ちるとえ詠し〳〵ふ付柳子ゆをケ〳〵し歌語に
句付をく〳〵付にお句より思ひのをかのを〳〵の重

一 お学の利涯りしありてを詠しあるひと詠火
し歌の語動もち付ニ致のに京し〳〵付〳〵
さ合戦のそうなる数もかるらん句ちを往もと〳〵
今見を往〳〵お〳〵ゆゝひ〳〵し文句付〳〵
おもくハもしめれ何にゆるゝかくらん迷勢を出し
国と合をく〳〵こゝ方へゆる〳〵を〳〵し歌とこ文り
来る何を城の内のしお学を定め〳〵一度り
さつしと有り出文さへしくもる詠を思ひとを
出もく〳〵し先を立もく〳〵辞もく〳〵とも

一 母衣を武ちん付る何を保らりくそを定〳〵〳〵
ゆるゝ〳〵し母衣武ちんのさそと母衣り也さる付に

前遠[illegible]実[illegible]日入又[illegible]遠[illegible]
[illegible]合[illegible]
[illegible]
[illegible]病[illegible]大合戦の後[illegible]
[illegible]
一
[illegible]
法[illegible]人[illegible]病[illegible]
[illegible]
[illegible]
事[illegible]
一
[illegible]陰合[illegible]

戦の後合を[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
一
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
名[illegible]
[illegible]

沼城の[illegible]ひを襲撃の[illegible]

七カ小神城城カ[illegible]　金銀　甲冑　[illegible]

小筒ふなり

一籠城[illegible]の活弱人数の多めをうくるけ

歌を[illegible]ふ[illegible]を籠を[illegible]

法合の[illegible]を[illegible]を[illegible]の[illegible]を[illegible]

京[illegible]　大備小備[illegible]籠[illegible]

いつ[illegible]を[illegible][illegible]　[illegible]　大籠

[illegible]小籠を使ひ小籠を[illegible]

[illegible]を[illegible]人を[illegible]　九籠ハ大[illegible]

の[illegible]動く[illegible]　大家[illegible]歌出[illegible]

[illegible]ハ[illegible]を出[illegible]籠をた

く[illegible]歌を大家をけ[illegible]

人[illegible]を[illegible]

一仕寄場[illegible]人[illegible]ハ矢[illegible]

屋[illegible]

矢[illegible]場[illegible]

竹束を[illegible]

[illegible]の[illegible]

[illegible]の弱[illegible]

一城京の[illegible]歌の矢[illegible]

人の集りまる所を城地とまたは城郭とも
申すなり文字を以て小城を城
書はあいまいなれども有られ
なり可申城は城郭にて西城
敵対の城を申すなり後世城
郭の後の城郭を新しきの城
なりと云ふ城郭と云ふ城塞城郭とも
云ふ茶道に名所に九戦場に名
歌に詞に見うるまれいうるより
是を命名をいふ城に茶に名
かくこれ人跡なる人を

一途の用尚を歌の方の学をとなえ
立の歌をうたふ歌に対句を一長所
是を色々歌とは記して合を対句
中りをうたふ跡を返歌に美の歌を
面係をかりて縁を稀に元の歌
とは赤面をのうまれ対句に歌を当て
人間を先生の
七日も日数を切後対句
ちうの句に銀子の何るを銀に勝
西に一枕対句を先に
先に句を者れを芸を芸れを

一大抱えとふを猪獲るの長六十間程と十人を立てて
して出るを中り大なる方立て出るとあり
中抱えとふを猪獲るの長十間或
二十間程出るなり 小物見とふを一猪二猪或い
無とき有り 地形の若無洲沼の有を
二猪つまり五六匹 海の面無き欲の遠く
欲の産実人数の多海の面無き欲の近く
欲を戦ひ打欲の陸れ欲のいとは猪
物の増欲のとはの欲の加はる欲の加はる欲と
繁り欲のあるいは欲の陸る欲の強き欲の弱き
てきの川を渡て欲の上る欲の始る欲

中ふ也 ぬ欲のあと能くとるなり 七川の流源
場の廣き猪 伏兵の多くふるとくを
所 使者とい ぬとの中ふ
いるとす 馬の京都口の中ふ
具なると 第四の人使者ふ三
由り事と 出る 四人使者ふ三
あるの小猪を用ひ
一 るの第菜の多き所を表とする
して用ひ るの焼所を所ふ
溝川の赤の 帯を浸して又前を
由く 所を見ちとふ 蜜相ある

大根なども切り

一 路次ゆく道のほとりに何なりとも捨て置きたる人骸を見て

ゆかしく思ひ出でらるる事

一 馬を小屋の前につなぎたるうしろ

面をみるに小さきと大きなる中間

つぼく面白し又中ほどの小さき大なる絵を

描き面下に歌あり勝ち必遊ぶものと

人物あり川辺に石を敷き石を段

々に積みたる所に蛙小中大

とあるも陳屋の作なるべし又

[illegible]

[illegible]に元祖孫[illegible]

一 思ひよりを活くつまみは淡の姿と荷竹行を

持ち面白のひのもの此事を知るは

物を変へ所に[illegible]人を分て面白の蔵と

なり 蔵を成人の姿[illegible]

蔵蔵の作を志[illegible]

の穴あれはそを[illegible]

[illegible]

日光菩提の[illegible]又人の姿[illegible]

[illegible]

蔵の作[illegible]の蔵の是[illegible]

八月一書に曰、勝隣とは、うるひと
沖とをうるを、雄かみ、さいけ四寸半
ばかり、仕角中なる、一尋を越せば下結を
とりうるみ、弱をふまへて、越して、無て
言文不可尽、とりて上りたと、下と
あやふむ色うす
一多賀りを掛のあり、後り、切身は
うつて、常りこまを、高屋うつ
心明剣声、貫ふを、うるこ、元と、
仕要より、雷のうつ、柔り、風のうつ、光ひ
新のうつうつ、雷のうつふ、高うつは

不仕の行要、修磨の如、不なり、如無ひく、清ふ
行の未、終と、仕迫、宮、程の後、手、うつれを、井
宮程ふ、ふ、四つて、迫切、雷手、あの、行ちひ
高とうつり、小月、仕行ちひふ、河と
うり、小うつ、赤を、切、又中と、弟あひを
茶、行うひと、五ふり、仕、ひ、ひ、ふ、ふ
用意、ひ、ひ、ひ、ひ、ふ、ふ
一
相湖、宮、ひ、歌、と、宮、仕と、ふ、よ、花、と
ひ、月と、差、よ、山、と、宮、り、ふ、と、ふ、よ、墨
ひ、仕、り、仕と、差、よ、ふ、ひ、差、ふ、ひ、ひ
河と、差、ふ、ひ、ひ、ふ、ひ、海の、ふ、ひ

[illegible]

一 行軍の仰り武器を[illegible]
[illegible]ると多く[illegible]ます 九先[illegible]
出ると出張と云ふ 張所の[illegible]所[illegible]と云
と着張と云ふ 家[illegible]所れと岩張と云ひ出山
一[illegible]も張と張場と云 [illegible]と云
張所と云

一 [illegible]武[illegible]を[illegible]鞍を[illegible]
[illegible]す 今我の[illegible]兵隊を[illegible]ひ[illegible]あを[illegible]

事と[illegible]一張所中ふ[illegible]大[illegible]
[illegible]張の[illegible]を[illegible]
張[illegible]張[illegible]す[illegible]
一切下馬[illegible]

一 [illegible]中[illegible]の張地を[illegible]
[illegible]矢[illegible]を[illegible]
[illegible]軍の[illegible]
又[illegible]
雑[illegible]の[illegible]
[illegible]

一 張[illegible]張[illegible]

町内を除き入れ申さむ

一 又数石柄大分 石柄のごとく形ひと
うゝく教えて代銭をもつて用ひ一柄を用ひ
ものを所定一川源一硯屋 梱或るのか
小屋要後四方ふ
是銭を出し 硯を吟味んと相ひ所を各
銭くも是 硯を小 貸方 硯箱ひ来ふ問ひ
兎角やうに家もうゝ 硯を買せむ
一 五歳以硯のうちに切くす雑
小行ふ 横合りうゝ 又是銭を
ふく 硯を買ふ 問を硯をもつる 場所を定

いつとの安いつとの地位のうちかく 情を
行ふ 物を買ふ

一 六十歳以上の人数を調べる人を仕方ある 相世話
義侍くこと可 雑兵五百 二百 ものなく
人数人家人の中 ものなく 方ならず 立先を作る
人を使ふ 又孫 二十歳 三十歳 を調べる
人ふ必ら後地の足軽 百 添て調べる
ものく 生くふ 子孫 調べる人 ものなく
足軽大将 ものなく 与後地の足軽二十人
三十人 調べる人を 足軽 大将 相ひ
ふ 一 孫 調べる 銭 用 人ふ

歌をえらびて是を六人組といふ　あるひは歌合せ
にもする也　またハ歌仙の内を撰り分て歌合し
是様に三人づゝ組て六人の内二人を撰て小歌合し
て三十人を一組し定の歌を一人づゝつがへし
かくて三十六人を撰て歌仙の歌をとなり
歌仙の歌を三十五頭となる也　以て半分ニて
歌を撰み合し　又かくて数多人集めたる先
三歌をもて定むる也　中古人是を歌合ハ服
是の代りに　山方　或ハ謡をさして
一　歌をあしらひ[illegible]をいへると云　左右　両ニ分て
其人を見て云　歌仙の判者撰者を[illegible]

一　撰むといふ歌仙とハ撰歌をいふ　是も十人廿人
或は三十人五十人も撰ふからに隠れ居て歌の
出るを待つ　又撰歌とハ隠衛を毎年[illegible]人
二人づゝ撰して出るといふ　村校里校[illegible]
いふは何人数二三百或は千二千にもあれ
村里山林の内に隠れ居るをいふ　撰をさふらふ
歌の来るをまちて撰ひ　或は奏進也
一　平等と出し　又は仏法を出せの説を云　於年
とは[illegible]戦の[illegible]出し[illegible]
といふを隠し[illegible]戦の[illegible]の
[illegible]

一　乙矢の細い篠の末を[illegible]を大先
[illegible]伯[illegible]小弁[illegible]
[illegible]又[illegible]
[illegible]

一　外[illegible]は[illegible]の[illegible]十[illegible]十[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]十[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]

一　[illegible]を[illegible]
[illegible]火を焚といひ[illegible]を[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]螺[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一　味方[illegible]幕[illegible]

敵の幕を引たるは引る時をのぼるといふ又ある
説に味方も幕を見る時の附をみるへし次の日より
幕をうちよするを敵陣の紋籏幕をとらふ
といひ敵幕をもしりたる裏旗のまくを
張といふ也しく幕をかくる附を外より内へ
むかひ来り候はゞ勝負よかるへし又毎りとも幕を
作るものをいふ日月のあんくり二つ中の一つ次上
三所をうつみをとるひのてき殊に其深ふかく
まつるしく内方へ入て極で勝つとさして

一 味方の人数とは敵の多けれは敵の人数
とは我勝り陣を引るといひ武を味方を二段

三段に備へるといひ敵とは二つに切りわたる
かりあとゝいふ又人数を一勢に備へたる場を持たて
といひ敵の備あるを虎口といふ敵い事つき
して出るを志しみたるといふ味方のさる
後の附を持つ持ちあひて中の所り中の御り
まつりに小屋勢をはさみ入ると其敵の人数を
まつりし候何程にきつまると云

一 敵を右へ退くると入部といふ但し味方のた
つるひはしく敵を左へ退くると人部といふ
味方の手つかひなし又敵味方に戦ひくその
場をさりたるを前後をふまへていふ敗軍の

士卒とあつめ〳〵ラ出さとき敵と味方の
人数を十五さ法出なとふ敵の人数と引出さと
ひ味方の人数を多くとひ敵の人数と引と
ふふ通〳〵とふ

一城を攻るとき山城をひ城攻とふ
平城とふ平城とふ海川の城とも味方の陣
又ハ小敵なと敵ふ外きとき攻ちとふ
山川谷場柵なと敵の敵一番ニ攻きとき
也敵相里なと敵の矢ハとうとふ
敵の陣をみかも柵を押茅押をヶ茅戦ヶ戦
陣をヶ押清ヶ つの迫〳〵味ひ入るなら城ふ

籠ら附ヶ元篝槍籠ふ城ふ
とき切〳〵出寄て出ヶ一迫ヶ一返ヶ
寄出一迫ヶ一返ヶ一迫ヶ一返ヶ
一敵と味方お敵ふ附ヶ出合とを合を法合押合
ちくのヶ一ヶ合寄ヶ一迫ヶ一蹈洗ヶ
ふ又味方の負ふ附ヶ矢疵ハ射ヶ
ひ後病と寄ヶ十人ヶ一の病をけさヶ
ヶ方ヶ敵ヶ切ヶ敵ヶ射ヶ
寄ふヶ一ヶ切ヶ前ヶ
一味方の討死を迫ヶ味方の首ヶ味ヶ
ふヶ味方のヶ敵の元ヶ

[illegible]又敵の首[illegible]高名[illegible]敵人の首[illegible]
[illegible]又一荷とハ[illegible]一駄とハ[illegible]八[illegible]
一篭城の時[illegible]人と[illegible]籠城の
[illegible]城の[illegible]を焼捨[illegible]地下[illegible]
[illegible]敵を[illegible]所[illegible]
武[illegible]振[illegible]曽の[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]
武人訓巻之[illegible]

武人訓巻之四

誓古篇

一出陣の前途[illegible]大将出[illegible]
[illegible]左の[illegible]八文字[illegible]
[illegible]没者[illegible]人[illegible]
人[illegible]人先[illegible]軍[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

者と大のすくをしてとしてふたの足なり
造出一のふくたるの出をあるの見ふさる
中くふくて越後の俳句を日り出をと
あるるの甲斐の行をを我小能仏る法師
武をを了り出をしの金銭のうり二人
ほ方をるを一ようく敬をくるの
とるを自分の有りも人中をく出れて
をうり

一武立の俳を一人の句をるく大なるものと
すくるす軍の利をを以く切を凡法人を
廟一所り抜くの俳小人をを多之人をけ

を人を必ず武切ありとして文我場小ありく
面を作り威状を称ふ一篇の俳之廟墓武
なるの特きものを作る小字作りて浮名り
加俳をのうんとの第之高中り小神武撰小金紙
の新を作るハ三枝ようり

一切腹の介清りいい紙を力を用ひて大ふ
半人ふくと介清をを上りを之一腹をを
とり力を作くり切腹の人の作ふ小ふ切腹
人の乳を介清人の勝を乗ふ金作り同高
をくくをを五一切腹一之一腹を
中くるのを作て一切食を穏をを作く

死骸を焼ふ〳〵切腹人の服装を拵へ
しのばひをなし刀を帯し芝泉岸寺
出し角をらさる方り載く出て
切腹人いまだ後の服を大の服に切
なり 検使を切腹人の面前九人程を
立〳〵たる上にて検使を立す
検使の力を奪ひ九人を多く殺し
あるなり

一 人数押の事甲州女切腹仮なるの時 雖然
勅命に命じ検使の不 大事 押て寺
英法なるのとき山中を押て関先を

實ある剣ならて馬上の組手と馬ふさや
く離れる身の放りしぬとよくこなたを足先
あるかゆへて主しくみるに人をかけ行しなり
然しく馬上の組手あらは先を取鞍をとしく面の
手を鞍にかけし組とひとしく法続と
合をして生捕にし又ぬしく馬上の談合ハよく
敵の面を突くし凡組手とかく大勢にならは出
なる時を　敵味方ならし勝負をかけらひ川
組しこそ敵を討とりふ

一　敵牧軍何を後討首二つ取かけし本か乃とり
敵を倒し信后を川　敵を討きりのなり

然しく敵を討とらしあるふ何を先敵を人を
見るとくし討てし行しこはたへくを討取まし
よく〳〵居れ出し敵の中へ行しては武者の陣見り
返しをくる中にしては大勢なりとも人へ大勢
なりと見れしき若しるとも何を先口中へ小札を
入し置くし又熊武者の前は生捕りしむ
おもひを神妙を用ゆるし生捕武の旅を行るハ
旅と長サ二寸程ニ切れしとて見しそ羨地代
ありしためしうらしぬしむかし平家時
それに言をのかそこまひ知らせ佐藤が姿
と部し追てるとよし多し人と物いひてる

一 とかり能く心得へし

歩兵の附砲をせりつめて手燧ぬけるとき
事あらハ石突をとらへて横さまに打かける
て砲必す倒る附討え一ヶ所思ひしく
砲を討えものハ見えすの間さまり白ひとえ
て胄無之様無かりしを手なをを悉くす
ことのかり

一 支り出陣く戦手懐ふそのりに甘草を含
しむしくくわしく足まひまて轉筋せ
し附を足の大指を出して草鞋をとかく
足つまてる附を細縄をかく両ハ股を結へし

一 結ふて拍足めらう小垣をぬハ足あらく
なることく又悪く股をまへ小足小のと出し
力紙をたみて足半りとくて歩むへし

一 思しく道をしるし附を夜に蕎し草
鞋をぬきて往ふとりて歩むへし草の中
草路をあゆミ川を出て先焼附を用意

一 鳥織りはみに懐中して尤着中にし
手を添て附をあてかむりて結ひ
つまりさい焼めりとも毒りしめて用心しす

一 又寒夜の旅ハ小麦粉なとのさいくして小毛を結ひ
股く包みてしもし 武田信玄ハ里人を

集めて敵陣へ矢を射かけ勝利を得る事

一 西洋あるひとの申されし法施を筒蓋の法施

火縄早合法施

西火縄明の火をとり

戦場にて用ひ火縄筒を高く差上げ

四寸四方にて中ゑの方へ小さく先を

あけ糸を付く打て西洋又ゑ夜陣

出る時法施の火縄をとり

退く打事

一 川渡しの時法施

法師縄と云て出て

又人をとり法師を奪ひ合ひ

て先方の糸を入渡て引て

武士を大縄を引く

時又法師あるひとを渡

馬をとり用ひ者の筋のごとく

一 敵を

て力ハ必ず

て兼て方法

を渡り物人と出て又西見小上る

ものを必ず筒陣兵法を持て

一 山上へ出る時先法施をとり敵へ

とあけ出て山下法を敵へ出る

[illegible]と考ふるものく又敵味方ちりぬひ西海の位
[illegible]を敵に付き[illegible]て味方後家
[illegible]を敵のうち[illegible]さしなひ者
進む[illegible]城京又を塀ちり附き
城中[illegible]旗の[illegible]を靡き立[illegible]城京の二三と
あ[illegible]の旗と先く投合[illegible]
一使者を遣[illegible]早く京[illegible]移あい
西海より[illegible]敵味方を
[illegible]移あ神谷[illegible]物又を
お同[illegible]又物[illegible]男と菊[illegible]
持後[illegible]ものハ腰兵の其ちなるうし集ひ

味方付なれ[illegible]吉[illegible]
一諸親[illegible]を伝浪人[illegible]
[illegible]月付[illegible]陣中[illegible]法師
女[illegible]食[illegible]を捕[illegible]付き早く[illegible]
[illegible]其外浪人又を生捕[illegible]早く大将代
[illegible]
一橋の[illegible]敵付き[illegible]を能て[illegible]
[illegible]一面[illegible]敵を[illegible]又矢[illegible]
[illegible]味方山[illegible]敵を[illegible]
三間三四町[illegible]味方の矢[illegible]
[illegible]味方要害の地[illegible]陣[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

河東を附入相模国より小田原北条の
虚実統率陸奥部の所領の所の利
山上山下川渡渡場戦場戦陣軍夜陣奉
を迎夜討渡渡場戦場軍夜陣奉
迎えを出す法度紀を以て又戦の
準ず天の河未だ吹かざる地の利いまだ
法度未だ出ざる時節未だ士卒未だ
会せざるを以て戦を遂ず戦を士卒情離
あるを士卒を怖るるの所とふく
一大河を隔てる戦ひを先に渡しる方必ず
勝とする所を渡きゆえを知る

小勢を以て利多く大勢は渡て利多
しぬむ源義経宇治川渡さる所時
所源のを入れ川中の綱を切られ
ける又敵の寄せ来ると見て所事
を為る敵の大勢来ると軍を為るの
みなり多ければ為る所を
軍所れて先ず人勢所れて二の仮
所なす所を友所れて
先を為る渡源より所を表所と
ふ味方を表合後法の敵と
所仮の渡り所を所を

[illegible]は寝耳ふ[illegible]ふ[illegible]
[illegible]と脇[illegible]ふ又味方の[illegible]は
先[illegible]

一味方の大先二のど[illegible]
[illegible]撫[illegible]
[illegible]先[illegible]
[illegible]す[illegible]
[illegible]
[illegible]

一鎌波揚[illegible]大將[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

但し戦いの時大将左の足ゆく之後格をを
踏まるなり
一歌の極と申すは一番大将とおぼしき定の
歌の人数と云ふ一ぱいふかまりて但し
歌一人を引取り是を行事と云
あるいは歌の頭と味方の法を極めるなり
又敵の人のうちを者一人数移り者二人
立花者之是場の苦無者町方者之辞
者不足ものは大将ものはかまりもかまり
為
一敵見の人をうは口上の立流ともはまた武之
とも作りて只歌の勢の人数の多少此の利
方は俗の作者押歌の引歌のおもものもして
歌くうたをめて流をうたふ歌ひ方ふ
不毎の者は特り中上て又物見のうた作り
は出さくい歌大将なれども強のきをて小勢
見小勢なれども強多きを以て大勢と
思人歌を引歌と人数虚少と志北とありひ
味方の加勢を歌とうたふ作るなること作
為歌を大勢なれども小勢の作りうたふ
反いうる俗を小勢の作りうたふ
うたるものなり大勢の中より
あるひを相木石方をを歌

中ちゆふ人数ちと又隔るなと又欲ちあ
あ毋をくゝるものくゝ山と早ちゆふ
流ちゆふ深きゆふ又隔るのゆふ

一 夜の火のちと火先のうつる方あらふをく
うつる又月夜の火ちゆふ白くちとくうつるの
ちゆふ蚊の焼ち焼ちと屋くゝ
うくゝ方ちと大方うちくゝ屋くゝうつるの
おきの粕煙ち卵くゝうつるくゝ丸粕烟と
ゆうちゆふ穴と堀ち菓を入粕の囊をかし
くふくゝ火と分くゝ煙ちくゝ上ち方の味方
をちくゝ おきの附を知ちと又粕烟の方角を

知ちくゝちは方ちくゝ其方角を定め矢金
栖梯ちゆふ撰ち肴を知ちのくゝ あちくゝ
行ちと位方ちくゝて縄ちゆふくゝ結目ち肴をち
方角をちくゝ知ちくゝ 定柳角ち
右の粕煙ちくゝと又ち流星玉火ちゆふて
ちゆふ西北 おきの刻限ちくゝ火をちくゝ
知ちくゝむくゝ

一 地焼ち欲の仮ちゆふ下を焼拂ふちゆふ
大方東味の方を出石方の内を焼拂ふ
くゝ又欲火の事くゝ欲地くゝ入ちゆふ必ず
村里くゝ火をちくゝ事ちゆふ事 一余江の

味方一変仍と知しめんが為二年孔
明諸方の勢を集め永孔へ向と知し
めんが為に額の方に四悪のものあり
是に力を合せしめんが為に味方の威勢
と知し額を恐怖せしめんが為に味方の
兵場を見つるが生たる

一計策無くして敵の文を以て敵のん
を絶さしむる味方小船の附
箭と多く立箭と多く贈火縄を賞へ
又をおしたるを計策辞平策火ふ
ふく

一除箭陽紡とうふを味方に知しめ
ひたる文字あひたる白文
ふくと以て書れを法の中にあるの
あるを服兵の鎖の内にあるのあひた
切刻笠の陣に入あひたる笠縫し表
にあるの文を色々の腰にあひた
竹の筒に仕地刻うた馬のそれ件
敵に或は人に諸に文陣を出あく其
中にうく他示の味方に色すこと
製の中帆の幕に皆人に味方
に色箭をうを紙をく他示の

味方ハ通ル[illegible]ハ右之如ク[illegible]
[illegible]ハ歌の脇と[illegible]ハ黄ハ
歌[illegible]紫ハ玉葉を[illegible]
[illegible]文の書様ハ大意を[illegible]
[illegible]と[illegible]筆[illegible]出[illegible]
[illegible]紙の上[illegible]
[illegible]書[illegible]る文字[illegible]
書ハ古風と[illegible]筆[illegible]書
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]又の書様ハ[illegible]
[illegible]の[illegible]書[illegible]ハ文字

[illegible]右いつれも紙の書面遠ハ
[illegible]紙一紙[illegible]結ぶ
書様ハ同[illegible]
一[illegible]紙[illegible]分[illegible]誰[illegible]誰[illegible]人
[illegible]紙合せ[illegible]人を一[illegible]
是一紙[illegible]誰[illegible]
[illegible]誰[illegible]
つ[illegible]場[illegible]いつ[illegible]地誰[illegible]
[illegible]文歌[illegible]味方
[illegible]先大[illegible]下[illegible]味方の仮
[illegible]後歌の人数[illegible]我[illegible]
[illegible]の地歌の[illegible]

為とす

一陣場にては小道具合をすなわち法度行はれ候味方大軍にて敵少なく候味方少なく敵大軍にて正しくさるべき場を必ず彼る又我場を味方一人敵に付き敵一人味方一人に付き味方多人の法より敵一人に対する其きをとり又多人の加勢より一人の敵の多と業との要術なり

一小人の大なるを味方小勢の時取るも酒くに敵しのぎ小一人合を我ふ

又案の法合を敵味方の志を思ひ

一法人一変なるのは必ず敵に隙なる

（ヨリ）

機合に伏兵を用ひあるを用ひ

味方を敵に取る人の意と変して勝利

と得

乗と以て剛に勝の要法なり兵を伏するの

地方は表出敵山陰塚橋の陰大木大石

堂社塀又は茅地形に応じて所為と

一法人一変なるのは必ず敵に隙なる

（ヨリ）機に兵法とんなる業事

用意を分人数接ぎ考え人

候し大方ニ而ハ手前の人数も多勢の程ニ応之
早き手前の人数を先ニ出し置候へハ仕置ニ至るまて
右の人数敵出し候ハヽ少寸手人を敵方へ
出させし敵の方ニ而手前之手人と出て付る
物の勢ニして其程一組も二組も彼より
出させし由主人より手人ニ而候得
召れ出る付も其節見合て家出し
有之一通り勢を被作候ても家出ハ
たとひ不足敵出候とも驚くへからす最前
の如く其者の勢ニ而置候事ハ無之候
候やうに心得候事肝要也

一 其場人数の多少と其之の事
使者の儀ハ敵人の役ニかゝり候ハヽ其方一
君命をうけて引付る事ハ仕付も立る所
使として引付る先の名跡の名を書記し
御らるへし使ニ出る所の家柄を先早く
家出候へす家出る所ニて(?)ハ
よく是を心得て其の(?)の事を
静かに家出し先方とも申候へ
前方家出ハ又静かに之しかも先ニ先をハ
人静かに其上を中渡し又此の(?)を志りて
家出し敵陣方の程をもつて候へし

心付もまた新しく京出し道の程と早く京
は京をくくと馬をかりめ京くと京
こと大将の馬のうらに沿ふ所へつまるね西京は
大将の右のかたり後へ京出し左の方へ京り者
ロと上と上へ出し先へうろうろ付を
志向まり右のうろへ京者や鎧をたのうろふ
おさの鞆を敵し敵の家将り西晩をうて
中上へ

一 敵の和へりいかすも出のものを出へ
右は後ほと知るへまりは馬をるもの出へ或は
細縄の先り小石をつけ縄の西をり引き紙を

つけ力の鎖引は鎧ふとも法付へ知るへ
又兵の中へ法を付ハ兵庫列を知る用の所ハ
こと墨とふ細中伏の斗器ハ多敵の
志似とかへあひは富をと物へ
又用ものを紙へ出の渡へ行へ
歌へ知へ歌ふ人をふふ去ける
を用のふ和る激へり歌の将忘へ行へは
法幸の為へ行へと知へ武を法掛へ
又路動をを兵将へへ敵中ハ法地
ををへ雲の多をへへへ行ハ去をれる
歌通へと知へ敵中歌ふ馬の上を

[illegible]ることなかれ。[illegible]す歌保元物語
極めて高き者たちの[illegible]ことを為て歌とのみ知り
[illegible]す[illegible]別歌必ず歌詞ふ知るものなり
歌保元[illegible]るの所[illegible]の日[illegible]減ずる[illegible]多く内の
歌[illegible]

一 大きく大者の付くること波の来る歌は弱きものの
[illegible]付を浦[illegible]ものの又者天ふ[illegible]と
押寄する歌を弱[illegible]ものの[illegible]付弱る付ふは
浦[illegible]又大河と海の来る浪の続くときは
ふ知る歌[illegible]九そ歌川[illegible]来る川[illegible]とて
渓川[illegible]は波を歌と知るの[illegible]流[illegible]

一 [illegible]ふ[illegible]と分[illegible]
一 先は人数を深る歌は合戦と知る[illegible]
[illegible]と味[illegible]ひうと雪も[illegible]山[illegible]
来る歌[illegible]歌先[illegible]人数と深[illegible]
[illegible]所[illegible]遅く歌[illegible]歌と思[illegible]遅く歌と義と
[illegible]歌も雑[illegible]小荷[illegible]小荷[illegible]又歌[illegible]
[illegible]人[illegible]深[illegible]人[illegible]つ者大[illegible]所
[illegible]付[illegible]必ず大[illegible]出[illegible]小荷
[illegible]小浪[illegible]の[illegible]を[illegible]つ[illegible]出
歌[illegible]人[illegible]深[illegible]人[illegible]小荷[illegible]
の[illegible]遅く歌[illegible]小荷[illegible]

[illegible]欲する

一 [illegible]善なる欲と云ふものは人数の多く集る欲要する[illegible]欲又何[illegible]あるべし

[illegible]ある欲又味方[illegible]つくべし欲[illegible]

つらさる家[illegible]と思ひ[illegible]の外なる欲を[illegible]

[illegible]欲と云ふ[illegible]小[illegible]軍[illegible]ある欲[illegible]欲

なれども[illegible]欲[illegible]将[illegible]情[illegible]る

欲[illegible]れ[illegible]を改める欲[illegible]天の[illegible]

地の利[illegible]を得る欲[illegible]

一 私家の[illegible]陸の家[illegible]大[illegible]

[illegible]を捨てあひ[illegible]の作[illegible]

家利の[illegible]

私義大[illegible]小[illegible]作逆の[illegible]

[illegible]の[illegible]私[illegible]使[illegible]

[illegible]の役[illegible]旅[illegible]

[illegible]の役[illegible]家[illegible]

[illegible]小[illegible]積[illegible]自

中[illegible]

一 欲[illegible]人数[illegible]伝[illegible]先[illegible]

[illegible]仕[illegible]時[illegible]先[illegible]人数

[illegible]下り来帯[illegible]

凡士の系帯と称するは法度なりと雖も河の系帯を法度と為し大切と
なすは西の人数なり河の系帯を以て
歌の人数とし又大切歌舞の相到は
必ず味方勇しきものと又敵を無礼なる
又法度なるていけいに武人の礼帽を
なすべし無礼なる菓を以て系帯と
して家臣と御目通りなり

武人訓巻五

一 物者かく強者にして法をのがれ人数を
動かす法の如き自分の仕業を出さるべ
但一事なり又自分相応なる者
如の義なり大料なり

一 戦場にかかる小菓子の如きの
法とするの強者なり小腰にて法を
守り相応なる者なり
一 腰兵粮と称する者の家
一 印小文なる者なり
なり之を集む 後法度ひろめの事集む

[illegible]

一 物[illegible]て[illegible]と[illegible]て[illegible]鉄炮の[illegible]
[illegible]付敵の附[illegible]用也[illegible]先鉄炮の[illegible]
[illegible]る[illegible]附[illegible]の鉄炮
背[illegible]
[illegible]と[illegible]火矢大筒を[illegible]
[illegible]用也[illegible]鉄[illegible]
[illegible]鉄炮と[illegible]
[illegible]

一 [illegible]

一 多く[illegible]と[illegible]
と[illegible]
[illegible]附[illegible]
[illegible]又[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 戦場[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一

一

一

一

とれし

一 手の内弦のくゑとは欲味方十二七寸の目ちをは
弦弛なり十分六寸程り如く弓踏り打く
弦もしきる叶付之内り出して弦を合せする
と一内弦といふされは弓踏ると其内出して
それ弟子の目より出して叶付を欲味方
とかり勇士とて出して弓矢形りかたく
誠の内目おといふ也かりとも手の内弦と名家
てらるしうす又手の内弦と名さるとそれ我
より出之出てる人おしはかりえん人の振く
ゑりしき名の目より出て

一 手の内り出して弦を合せりしハなとを見しかる
こゑ名を手の内弦く又それをとれしかを一内弦下
の手名をいふ又手の内弦して流しく大方長力
みしくそれとふるゐと弦振の手名とそ手二内
の三内目の弦振を殿し弦の手名をいふさる
たりとしの弦振を誠の内弦しかりしもてらふる
る名といふ

一 誠の内弦といふを古の手の内弦ふおはしてきし
弦をと合さるくて外弦振の弓同して弦弛又を
弦下の手名とし弦を合せ挑む付力をかく
押込欲を付ゑるまく是を手の内弦の下えし

一二の方のうち何人と問ひ一二の方のうち何人
二番後り一番後しと申候者の儀は其者の儀
後之者のうち場中の言葉に西住の義
中に味方の内死人の有歟有り其者
言葉に味方より一人と云出て歟と
付候と場中次第に歟に成候
後拵のうち七番一番後の儀抜く者
只此儀あるべ

一人数押の付方は惣て拵に付ては信一示出
候事一番に申出候事
問答の列の通り示

一芝居の付板の通り出る事
紙一枚に仕出し幕中に仕出し小代
一切紙一切無用
場面に入
言葉一切禁
諸芸の方と中合ず
芸題之通り出貫弾貫ふ非道ず
又押賞物藩返立事

次第に成候通す又脇役の田舎言葉
踏あるべき事
又歟歟り八伝と行言葉押
右非道
尚為とさるべき押

一芝居の付板の通り出る事
紙一枚に仕出し幕中に仕出し小代
一切紙一切無用
場面に入
言葉一切禁
諸芸の方と中合ず
芸題之通り出貫弾貫ふ非道ず
又押賞物藩返立事

を立て候て一統に中分仕候て少金の出来つ
候外に仕方無之候中ゟ申ゟ少候
ゟ礼を以て門の出入を立て世礼遠き
家ゟ中分仕候は大方一代ゟ代ゟ
家を亡し候ひとつ者ゟ代ゟ代ゟ
取法法度ゟ家ゟ代ゟ代ゟ
家法を守り国を治むる事五十年を
一諸事の法を知る者は遠国を立て
名を国に響かさんと欲し私りに金
を得て所に帰り逆人門を閉て行る
て世の指南の者と成て諸人を討

亡ぼす者多し故に
家を

一伝聞の名将分る世中の武士
は戦場の門口に出る時は大将軍
の内の人なれども外の凡切の
者を試に小力の人を書分る事
なり人の具足をこしらへ付ける
武矢を射る矢を中る者
又御しの御る得る附上下
平に射る厚板と成る者は

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

業にて[illegible]人を捕らんとする者法と云く
捕ふる[illegible]種の正作くとおもふ人多し
玉捕の法より大なる人間遠方より所
所にて[illegible]早速討れる事叶はざるとき
行とさんや[illegible]の附水かるるのは必す
投打[illegible]一度武士の和とさんやう
とふの術を弱きを強く強きを弱
術をもて成り勝ちと
やうに武士の業ふあり拙学にて力弱
人を捕て負とえ[illegible]
[illegible]誘地を見世[illegible]

一種の投の中に[illegible]人多く[illegible]
[illegible]家の無物[illegible]第八に[illegible]
玉捕とは[illegible]法也あり[illegible]拙法[illegible]
[illegible]投也[illegible]家[illegible]後生捕[illegible]
[illegible]決[illegible]枕[illegible]弟[illegible]
[illegible]又常[illegible]の細縄[illegible]
[illegible]人[illegible]横縄[illegible]十文字[illegible]
[illegible]元[illegible]種[illegible]縄の[illegible]
[illegible]下[illegible]法[illegible]
[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

武人訓蒙図彙　大尾